# みやぎ県議会だより

平成30年
9月定例会特集
第127号

編集・発行　宮城県議会広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号


## 議決した議案等

### 決　議＜1件＞

○国際リニアコライダー（ILC）の誘致実現を求める決議

### 意見書＜7件＞

○私学助成の充実強化に関する意見書
○学校における空調設置の促進に関する意見書
○児童虐待防止対策のさらなる強化を求める意見書
○東日本大震災被災地の子どもを支援する事業の充実を求める意見書
○東日本大震災の被災者の心のケア対策の継続的な財政支援を求める意見書
○地域住民の安心・安全を確保する交番施設等のセキュリティー対策強化に関する意見書
○主要農作物の種子の安定供給・品質確保に関する意見書

### 可決・認定・同意した知事提出議案＜44件＞

○平成30年度宮城県一般会計補正予算
○平成29年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算の認定について
**＜附帯意見＞**「平成28年度決算書の工業用水道事業会計の未処分利益剰余金の処分額の記載に誤りがあったことが判明し、平成29年度決算書の『Ⅵ平成29年度宮城県工業用水道事業注記表』において、平成28年度決算書中の多くの関連箇所を訂正するに至ったことは、極めて遺憾である。今後は、このようなことが生じることのないよう、再発防止策を講ずること」ほか

### 採択した請願＜1件＞

○政府及び国会に対し私学助成に関する意見書の提出を求めることについて

### 不採択となった請願＜5件＞

○宮城県独自の学級編制弾力化事業を拡大し、公立小・中学校全学年で35人以下学級の実施及び特別支援学級の編成基準を８名から６名に改善することを求めることについて　ほか

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

９月定例会の本会議

## 災害公営住宅
# 生活支援員常駐を
## 孤独死防止、コミュニティー推進

第365回宮城県議会（9月定例会）は9月18日から10月18日まで31日間の会期で開かれた。51億870万円を増額する平成30年度一般会計補正予算など50議案を原案通り可決した。補正予算案には東北大青葉山新キャンパス（仙台市青葉区）への建設が決まった次世代型放射光施設の土地造成費など5億4000万円が含まれた。代表質問、一般質問では東日本大震災の被災者支援や震災伝承をはじめ、観光振興、学校教育環境整備、子育て支援などについて、活発に質疑が交わされた。

東日本大震災の被災者支援では孤独死の防止にもつながる災害公営住宅のコミュニティーづくりについて質問があった。議員は「防災訓練などを住民同士の見守り、助け合いにつなげたり、役員の負担軽減などの環境整備などが必要と思うがどうか」と質問。

知事は「新たなコミュニティーづくりには一定の時間と支援が必要。地域コミュニティー再生支援事業を通じ、自治会イベントへの助成や運営上の問題解決にアドバイザーを派遣するなど力を入れている。今後も支援していく」と答えた。

議員は「気仙沼市や南三陸町で高齢者の孤独死が続いている。対策をどう講じるのか」と質問した。知事は「市町村では配食サービスといった生活支援や緊急通報システムの整備などを行っているほか、民間企業と協力した見守り活動などを行っている。支え合う地域づくりを市町村と連携して進めたい」と答えた。

大規模な災害公営住宅に生活支援員の常駐配置を求める声もあった。議員は「気仙沼市は災害公営住宅内に相談室を設置し、生活支援員を常駐させている。他市町でもできるように県の財政支援を求めるがどうか」と質問した。保健福祉部長は「常駐の判断は被災市町が行う。費用は被災者支援総合交付金が財源になる。常駐配置を行う市町への財源措置を引き続き国に要望していく」と答えた。

「県外避難者の帰郷支援強化が必要と考えるが、現状と今後の対応方針は」との質問には、知事が「ピーク時の9206人から1848人に減少した。現在の県外避難者は、時間の経過で住まいや就業、子どもの教育などの課題が複雑化している人が多い。個別課題に応じた情報提供や相談により一層努める」と答えた。

震災で親を失った子どもに奨学金を支給する「みやぎこども育英基金」では、「増額を含めた制度拡充の時期の検討状況はどうか」と質問。知事は「来年4月からの見直しを念頭に、給付額の増額や大学院生までの対象拡大などの観点から検討している」との方針を示した。

## 震災伝承
### 被災地連携し検証と発信を

震災伝承の進め方について議員は「震災から10年目の2020年に、県内の被災地と連携して、震災と復興を検証する『復興フォーラム』などを県として開催し、世界に発信すべきではないか」と質問した。

知事は「教訓を生かし、防災対策を強化するには震災と復興を検証し、広く伝えていくことが重要。来年11月に仙台市を会場に開催、今後も隔年開催される世界防災フォーラムが、県内被災地の情報発信や交流、震災と復興を検証する機会として有意義なものになるよう、東北大などと連携しながら取り組んでいく」と述べた。

## 県立学校のエアコン整備
# 普通教室設置拡充を

県立高校、県立特別支援学校の普通教室へのエアコン設置で議員は「整備の検討状況と課題、必要性をどう考えるか」と質問。知事は「現在、空調設備のない県立高校の普通教室への設置費用は約56億円。維持管理費は年間2億円に上る。あるにこしたことはないが、多額の予算が必要で、財政的に困難と考える」と答弁。特別支援学校の普通教室については「国の補助の動向を見ながら、できるだけ早く整備をすすめたい」と答弁した。

全国学力・学習状況調査の結果について議員は「小学6年生では仙台市を除く県平均が5科目すべて全国40位台と低迷している。結果の認識と課題、今後の取り組みは」と質問。教育長は「小中学校とも全国平均に届いておらず、大きな課題だ。（全国トップクラスの結果を示した）大河原町の取り組みなど学習習慣の定着を図る好事例を広く発信しながら、県内各市町村に指導の改善と充実を強く促したい」と述べた。

# 「オルレ」誘客の軸に
## 観光振興　海外、国内の連携求める

観光振興で議員は、10月に気仙沼、東松島両市に開設された韓国版トレッキング「宮城オルレ」について「東アジアに加え、国内や欧米豪に誘客活動を展開することで、海外や国内既存オルレとの相乗効果が期待できるのではないか」と質問。知事は「県観光連盟がアジア・トレイルズ・ネットワーク運営委員に就任し世界13カ国、29団体との連携強化を進めている。世界五大陸のトレイル団体によるワールド・トレイルズ・カンファレンスとの連携も進める。九州オルレとの連携も強化する」と答えた。

「オルレの魅力を宮城から発信し、東北オルレへと発展させてはどうか」「季節ごとのイベントは」との質問もあった。知事は「東北全体に広げたい。東北でブームとし、海外からの誘客にもつなげたい」と答弁。季節ごとのイベントについては「済州、九州オルレを参考に数多く実施したい」と意欲を示した。

議員は「インバウンド向け体験型旅行商品の仙台・松島DMOにおける開発状況はどうか」と質問。知事は「9月に日本酒とすしのマリアージュツアーなどを販売した。11月には松島湾のナイトクルーズや秋保地区でのサイクリング・芋煮ツアーなど新たな体験型旅行商品を販売する予定と聞いている」と答えた。

震災で被災した沿岸部の交流人口回復で議員は「震災前水準まで回復していない沿岸被災地のツーリズム復興を達成するプロセスと年次目標はどうか」と質問。知事は「沿岸部の観光客入り込み数を平成32年度までに805万人とするのが目標。宮城オルレなどで地域観光資源の魅力を向上させ、地域が主体的に新たな観光資源を生み出す体制を構築したい。復興ツーリズムも推進する」と述べた。

## 虐待や貧困対応ただす

深刻化する児童虐待問題への対応で議員は「宮城の子どもたちをどう育て、守っていくのか。仙台市、県警と3者協定を結んだとのことだが、見解と決意を併せてどうか」と質問した。

知事は「子どもたちが健やかに育つ環境を整備することは県政の重要課題であり使命。4月に児童相談所職員として初めて警察官を配置したほか、7月には仙台市、県警と3者間で情報提供などに関する協定を結んだ。緊密に連携し虐待防止と安全確保に取り組む」とした。

また「我が県の子どもの貧困問題に対する所見は」と質問。知事は「依然として就学援助を受けている児童生徒は全体の約10%、2万人前後で推移するなど憂慮すべき事態だ。震災が子どもたちの成育、教育環境に与えた影響にも長期的に配慮していく必要がある」と答えた。

「子どもの食を守る『子ども食堂』の認知度向上に一覧表の学校配布などをしてはどうか」との質問もあった。知事は「子ども食堂立ち上げ講座を開講するなど地域での役割や認知度向上に努めている。今後、実施団体から了承が得られたものから順次、県のホームページで紹介し、一覧表配布についても市町村と連携し進めていく」と答えた。

## 質問者と主な質問項目

**○代表質問**（3人）
▽細川雄一（自由民主党・県民会議）県政の諸課題について、農林水産業について、看護師不足と歯と口腔の健康推進について、教育の諸課題について▽藤原のりすけ（みやぎ県民の声）知事の政治姿勢について、格差拡大と分かち合いの経済について、地球温暖化と集中豪雨について、東日本大震災の教訓について▽内藤隆司（日本共産党宮城県会議員団）水道事業の「民間化」について、談合問題と入札制度の改善について、災害対策について、放射能汚染物質処理への対応について

**○一般質問**（16人）
▽佐々木幸士（自由民主党・県民会議）サマータイム導入と学校のエアコン導入について、幼児教育と特別支援教育の振興について、みやぎこども育英基金と交通遺児等教育手当について▽渡辺勝幸（自由民主党・県民会議）県内各分野における地域リーダーの育成について、外国人材の受け入れ推進とその課題について、安全安心のまちづくりについて、本県が推進する観光政策について▽坂下賢（みやぎ県民の声）人口減少対策について、がん対策について、石巻港整備について、第40回全国豊かな海づくり大会について、石巻圏域における諸課題について▽吉川寛康（21世紀クラブ）震災復興と地方創生について、健やかで逞（たくま）しい「宮城っ子」の育成について、エネルギーセキュリティーの在り方について
▽三浦一敏（日本共産党宮城県会議員団）今日の災害問題と被災者支援について、女川原発について、石巻の諸問題について、「創造的復興」は本当に評価できるか▽村上久仁（自由民主党・県民会議）子どもの貧困対策について、障がい者、難病患者等ハンディキャップを持った方々の働き方について、仙台空港運用時間延長について、東日本大震災復興後の県内産業成長への取り組みについて▽中山耕一（自由民主党・県民会議）地方創生総合戦略について、インバウンド戦略について、特別養護老人ホームの現状と対策について、待機児童解消の現状と対策について、県道大衡仙台線の整備について▽境恒春（みやぎ県民の声）気仙沼市と南三陸町の復興の諸課題等について、部活動指導ガイドラインの改訂について
▽庄田圭佑（自由民主党・県民会議）観光振興について、農業振興と海外販路拡大について、県政の諸課題について▽佐々木喜藏（自由民主党・県民会議）サン・ファン・バウティスタ号の利活用について、災害ケースマネジメントについて、重要物流道路の活用について▽福島かずえ（日本共産党宮城県会議員団）「人間の復興」という視点からの検証、優生手術被害者への支援と障がい者差別の根絶、人権尊重のための県の役割、貞山運河の利活用と周辺集落への支援▽佐々木賢司（自由民主党・県民会議）児童虐待防止と親の学び場について、芸術・文化振興について、障がい者就労に向けた企業支援について
▽横山のぼる（公明党県議団）防災減災対策について、熱中症対策について、農業等諸施策について▽遠藤隼人（自由民主党・県民会議）安心・安全な県民生活について、我が県の観光について、我が県の教育について▽高橋宗也（自由民主党・県民会議）東日本大震災からの復興と防災対策について、2020年「復興」五輪について▽岸田清実（社民党県議団）上工下水一体官民連携運営事業について、女川原発にかかわる広域避難計画とエネルギー政策について、会計年度任用職員制度について

## 予算特別委員会

10月５日、委員８人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成30年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。

**総括質疑者**　仁田和廣、安部孝（自由民主党・県民会議）、すどう哲（みやぎ県民の声）、大内真理（日本共産党宮城県会議員団）、遠藤伸幸（公明党県議団）、熊谷義彦（社民党県議団）、渡辺忠悦（無所属の会）、吉川寛康（21世紀クラブ）

## 決算特別委員会

10月４日に設置し、委員長に中沢幸男委員（自由民主党・県民会議）、副委員長に佐々木功悦委員（みやぎ県民の声）を選任した。

10月12日に委員９人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、平成29年度宮城県一般会計決算及び各特別会計決算等を認定・可決した。

**総括質疑者**　村上智行、深谷晃祐、横山隆光（自由民主党・県民会議）、ゆさみゆき（みやぎ県民の声）、角野達也（日本共産党宮城県会議員団）、庄子賢一（公明党県議団）、熊谷義彦（社民党県議団）、菅間進（無所属の会）、吉川寛康（21世紀クラブ）

## 大震災復興調査特別委員会

大震災復興調査特別委員会は、８月23日に、吉野復興大臣（当時）や県関係国会議員に対し、震災からの復旧・復興対策について要望活動を行った。

前日22日には、東京電力ホールディングス株式会社福島復興本社を訪問し、「福島第一原子力発電所事故に起因する被害への迅速かつ十分な対応及び原発事故の早期完全収束を求める要請書」を提出した＝**写真**＝。

10月２日には、この要請に対する回答書を同社から受け取ったが、原発事故による諸課題の解消に向け、今後とも責任を全うするよう強く求めた。

## 常任委員会

今定例会での主な審査議案は次のとおり。

○総務企画委員会　**審査議案**　職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例など８議案及び請願１件

○環境生活農林水産委員会　**審査議案**　再生可能エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進に関する基本的な計画の変更についてなど３議案

○保健福祉委員会　**審査議案**　介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例など２議案

○経済商工観光委員会　**審査議案**　なし

○建設企業委員会　**審査議案**　工事請負変更契約の締結について（鹿折川護岸等災害復旧工事（その２））など17議案

○文教警察委員会　**審査議案**　財産の取得について（操船シミュレーター一式）など２議案及び請願５件

## 議長記者会見

９月定例会閉会日の10月18日、中島源陽議長が記者会見を行った。

会見の初めに、各地で相次ぐ災害に触れ、亡くなられた方々への御冥福と、被災された方々へのお見舞いの言葉を述べた中島議長は、９月定例会を振り返って「今定例会では、次世代放射光施設の土地造成等への助成費を含む総額52億円余の補正予算が可決されるとともに、平成29年度決算が認定されたが、県監査委員の決算審査意見書で指摘されているように、復興事業において多額の予算繰り越しが発生していることから、復興に遅れが生じないよう、県執行部の適正な予算執行について県議会としても注視していきたい」と語った。

また、政務活動費に関して、収支報告書に加えて領収書等のインターネット公開を８月31日から開始したことについて、議員活動への理解が進むことへの期待とともに、今後も県議会として透明性の確保に努めていく考えを述べた。

## 県議会からのお知らせ

**●ラウンジコンサート**
県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。

◇次回コンサートの開催予定
・日時／11月26日（月）午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／Rino（ギター弾き語り）

**●傍聴のご案内**
本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。
▷お問い合わせ先　宮城県議会事務局総務課　TEL022(211)3571

**●ホームページのご案内**
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。

宮城県議会　検索

**●議会中継のご案内**
スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけるようになりました。ＱＲコードのアクセスはこちらから


「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Ｅメール　gtyosas@pref.miyagi.lg.jp